

■ S D G s について

1. S D G s とは

S D G s（エス・ディー・ジー・ズ）とは、持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）のことで、2015年9月の国連サミットで採択され、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。



2. S D G s の構造

S D G s は、17のゴールとその下に位置付けられた169のターゲットと232の指標で構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。S D G s は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むものとされており、それぞれのゴールは密接に関連し、社会・経済・環境の3側面から捉えることのできる17のゴールについて、総合的に解決しながら持続可能なよりよい未来を築くことを目指しています。

3. S D G s の特徴

S D G s の前進であるM D G s（Millennium Development Goals：ミレニアム開発目標）は、主として、開発途上国向けの目標でしたが、S D G s は先進国も含め、全ての国が取り組むべき普遍的（ユニバーサル）な目標となっています。

これらの目標は国による取組だけでは目標達成は困難とされており、地方自治体、企業、団体、そして市民一人ひとりに至るまで、全ての人の行動が求められているところがS D G s の特徴です。

4. SDGsの達成に向けて

2019年9月に開催された「SDGサミット」において、これまでの取組の進展を認めたものの、達成状況には偏りや遅れがあり、あるべき姿からは程遠く、取組を拡大・加速する必要があると強調し、2020年から2030年までの10年間でSDGs達成に向けた『行動の10年』と位置付けました。

2020年、新型コロナウイルス感染症が瞬く間に世界中で拡大したことから明らかなように、グローバル化が進んだ現代においては、国境を越えて影響を及ぼす課題に対して、より一層、国際社会が団結して取り組む必要があるとしています。

5. SDGsの関連動画

- ・2030アジェンダの履行に関する自発的国別レビュー2021～ポスト・コロナ時代のSDGs達成へ向けて～（外務省）
- ・どれから始める？未来のために（外務省）

6. 各種参考資料

- ・「持続可能な開発のための2030アジェンダ」
(2015年9月25日第70回国連総会で採択)
- ・「持続可能な開発目標（SDGs）と日本の取組」（外務省）
- ・「持続可能な開発目標（SDGs）活用ガイド」（環境省）

(出典：外務省ホームページ)